

## 令和5年度第5回医学部FD開催報告

### 「学生の臨床技能をアップさせるための方策」

#### 1. 目的

BSLにおいて、学生に「この科ではこれを学んだ」と言われるための評価およびフィードバックの方法について計画を立て、意見交換を行う。

#### 2. 対象

各講座のBSL担当者

#### 3. 日時と場所

2月14(水) 17:00~18:30 第2カンファレンス室 (参加者26名)

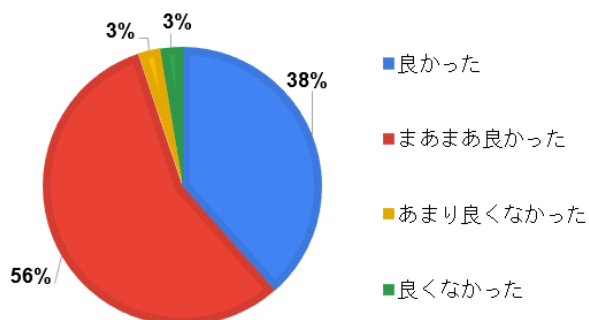
2月19(月) 17:00~18:30 スキルラボ・アドバンス (参加者16名)

#### 4. タイム・テーブル

1	17:00	開会・内容説明
2	17:05	グループワークⅠ ① 自己紹介、実際の評価方法について紹介 どんな評価方法が紹介されたか発表
	17:15	② どのように評価を組み入れたらよいか話し合い発表
3	17:35	講義(亀岡弥生):「この科ではこれを学んだ」と印象を残すために
4	17:45	グループワークⅡ ③ どのようにしたらひとりひとりに形成的評価を与えられるか:各課の行動目標をピックアップして具体的に考える
5	18:10	全体発表:グループのうち推薦を受けた1名が自分の計画について発表する
6	18:25	まとめ

#### 5. アンケート結果

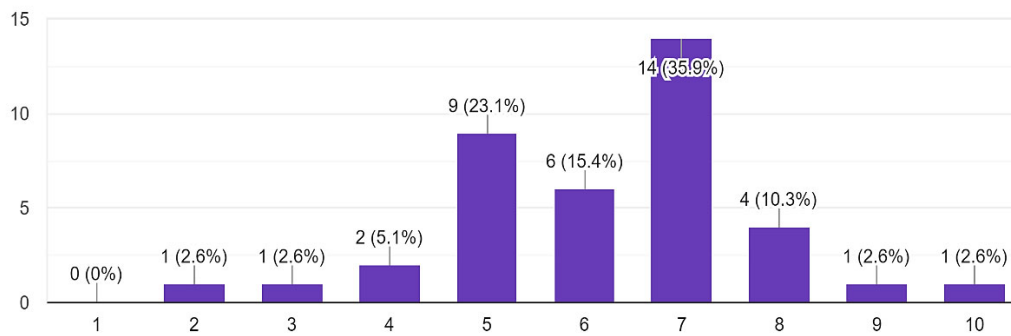
##### ① FDの内容はいかがでしたか



② これは役に立ちそうだとすることがあれば教えてください

フィードバックの重要性	6
課題と確認方法について	5
ワークを通して他科の工夫や苦勞について知れた	5
形成的評価について	4
Z世代の特徴について	2

③ ワークで立てた実習計画の実現可能性について選択して下さい



④ BSL で困っていることや、ご意見ご感想など自由に記載して下さい

- ・ 1 回に回ってくる学生数が多い
- ・ 学生のモチベーションが低い
- ・ 統一した目標がないこと
- ・ 学生の診療参加を嫌がる患者さんが少なくない
- ・ 教育に対するインセンティブがないこと
- ・ 時間や人員の確保が難しい